

2025 年 4 月 2 日

課題名：集中治療領域におけるレミフェンタニルの使用実態調査

◆研究の目的と概要◆

当院では、GICU などの集中治療部門に入院され、レミフェンタニルを使用して挿管管理された患者さんのレミフェンタニルによる疼痛管理状況を調べています。本研究では、レミフェンタニルのより安全な使用を目指すことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2024 年 10 月から、2025 年 3 月までの間に、GICU などの集中治療部門で、フェンタニルからレミフェンタニルに切り替えて、レミフェンタニルを使用した方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、身長、体重、レミフェンタニルの開始時の使用量、使用開始から 6 時間までの使用量、鎮静薬（プロポフォール、ブレセデックス、ドルミカム）の使用量、その他の鎮痛薬の使用状況、昇圧薬（ノルアドレナリン）の使用量、鎮静のレベル、痛みの状態 RASS、~~CPO~~~~T~~、心拍数、血圧、呼吸数、SpO₂、レミフェンタニル使用期間および使用中の時間当たりの最大投与量

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2025 年 5 月 1 日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録の情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

薬剤部 研究責任者 菅 直恵

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明